

平成30年11月14日

各位

会社名 株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名 代表取締役社長 平野井 順一
(JASDAQ・コード 2321)
問合せ先 執行役員 IR・法務担当 五十嵐 達哉
電話 03-6550-9270

特別損失の計上に関するお知らせ

平成30年9月5日付「子会社（株式会社ソフトフロント Development Service）の株式の譲渡に関するお知らせ」（以下、「本件お知らせ」といいます。）の「6. 今後の見通し」において、株式会社ソフトフロント Development Service（以下、「ソフトフロントDS社」といいます。）の株式譲渡（以下、「本件株式譲渡」といいます。）が連結業績に与える影響額は別途公表するとしておりましたが、今般、平成31年3月期第2四半期連結会計期間（平成30年7月1日～平成30年9月30日）において、下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上とその内容

本件お知らせに記載のとおり、平成30年9月13日に当社は完全子会社であるソフトフロントDS社の全ての株式をFPTジャパンホールディングス株式会社（代表取締役社長 チャン・ダン・ホア、住所：東京都港区芝公園一丁目7番6号）に譲渡いたしました。本件株式譲渡に伴い、ソフトフロントDS社及びその子会社であるSOFTFRONT VIETNAM CO., LTDは、当社グループから外れております。

これにより、平成31年3月期第2四半期連結会計期間の連結財務諸表において、特別損失として関係会社整理損37,688千円を計上いたします。

2. 今後の見通し

上記の内容は、本日（平成30年11月14日）公表の「平成31年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

なお、一時的な特別損失は発生するものの、当社グループで大きく赤字を計上していた不採算事業の整理であり、当社グループの今後の収益の改善に大きく貢献することとなるため、現在、当社が全力を挙げて取り組んでいる債務超過の解消にも寄与することとなります。

以上